

# 平成25年度防災訓練計画（理学系）

## ☆訓練の準備

- ・ 部局，専攻等 防災計画の確認徹底一班と役割
- ・ 事務・各専攻等は備品をそろえ，事前の準備（ヘルメット等）をしておく。  
各自衛防災地区隊員：ヘルメット，軍手  
各自衛防災地区隊：消火器，ハンドマイク  
理学系事務・安全室：腕章，非常持出し袋
- ・ 教職員及び研究室所属学生各自  
：理学系緊急連絡カード（安否確認票（避難訓練用））に必要事項記入

## ☆スケジュール

- ・ 11月13日（水）12：15～13：20（総合訓練）  
（但し，個別訓練参加者は14：15頃まで）

### [ 総合訓練 ]

#### （一斉避難訓練）

### 1. 情報伝達訓練

- 12：00 訓練開始館内放送を行う。
  - ・ 総務部総務課から，「12：15から訓練が始まる旨」の電話連絡がある。（11:55頃）
  - ・ 各建物・専攻に電話にて訓練予告をして，周知を行う。  
（本館，西2・3号館は館内放送を行う）

放送内容：「お知らせします。本日12：15より防災訓練を実施いたします。職員・学生は参加してください。」

#### ○ 電話連絡

数学事務室 2205 物性事務室 2147 基物事務室 2364	→	極低温 3253 応物事務 2444			
			石川台2号館 2339 化学事務室 2660	→	東1号館 2234 西2,3号館 化学実験室 2606 西4号館 2225

○ 12:15 地震発生（屋外一斉放送）

※屋外一斉放送の後、身の安全を確保。身の安全の確保後（ヘルメット装備等）に一斉避難開始。

各建物の自衛防災地区隊員はヘルメット、軍手等を装備する。

- ・ 本館、西2・3号館は館内放送で所定の避難場所に避難するようアナウンスする。

放送内容：「訓練放送です。訓練放送です。ただいま地震が発生しました。安全を確認して直ちに本館前の芝スロープ（西2・3号館はグラウンド）に避難してください。なお、避難に際してエレベータは使用しないでください。

- ・ 他の建物では大声等で伝達する。（各情報・連絡班）

※地震発生時間（12:15）になっても、屋外一斉放送が聞こえない場合は、避難を開始する。

○ 自衛防災地区隊の編成・報告（各連絡票の提出）

- ・ 各建物の自衛防災地区隊員は、指定避難場所に職員・所属学生等の避難誘導を行いながら避難し、自衛防災地区隊を編成して待機する。

- ・ 各部屋（研究室）は、火元又は防火責任者が避難状況を確認して「連絡票（避難状況）火元責任者（防火責任者）」に記載し、避難場所集合後直ちに各建物の自衛防災地区隊に提出する。

（本館分は、東・南地区総括自衛防災地区隊本部横の「連絡票（火元責任者）提出箱」に提出）

- ・ 各自衛防災地区隊副隊長は、職員・所属学生が避難地区に集合した旨および自衛防災地区隊の編成が完了した旨を各避難場所の総括自衛防災地区隊本部に報告する。

内容（例）：「〇〇号館の〇〇です。〇〇号館自衛防災地区隊を編成しました。」

- ・ 各建物の自衛防災地区隊 情報・連絡班班長は、提出された「連絡票（避難状況）火元責任者（防火責任者）」により各建物の避難人数を集計して「自衛防災地区隊連絡票（避難状況）」を作成し各自衛防災地区隊副隊長に報告する。

- ・ 報告を受けた各自衛防災地区隊副隊長は「自衛防災地区隊連絡票（避難状況）」を12:40までに総括自衛防災地区隊本部の提出箱に提出する。

（東・南地区は、東・南地区総括自衛防災地区隊本部横の「連絡票（自衛防災地区隊）提出箱」に提出（本館分は、理学事務がまとめて連絡票（自衛防災地区隊）を提出）

【各避難地区及び総括自衛防災地区隊】

- |                |                               |
|----------------|-------------------------------|
| 本館、東1、南1、3、6号館 | → 東・南地区避難場所（本館前スロープ）          |
|                | [総括（本館）：東・南地区総括自衛防災地区隊本部]     |
| 西2・3、4号館       | → 西地区避難場所（グラウンド）              |
|                | [総括（西8号館）：西地区総括自衛防災地区隊本部]     |
| 石川台2、6号館       | → 石川台地区避難場所                   |
|                | [総括（石川台1号館）：石川台地区総括自衛防災地区隊本部] |
| EI棟            | → 北地区避難場所                     |
|                | [総括（原子炉研）：北地区総括自衛防災地区隊本部]     |
| 緑が丘3号館         | → 緑が丘地区避難場所                   |
|                | [総括（緑が丘1号館）：緑が丘地区総括自衛防災地区隊本部] |

- ・ 事務局・非常災害対策本部から、「ウッドデッキに非常災害対策本部（事務局各部で構成）が設置された。」旨を伝えに、避難場所（総括自衛防災地区隊）に伝令がくる。
  - ・ 総括自衛防災地区隊から非常災害対策本部（ウッドデッキ）へ自衛防災地区隊の編成を報告する。※東・南地区は直接口頭で報告。
  - ・ 各総括自衛防災地区隊は各自衛防災地区隊から提出された「自衛防災地区隊連絡票（避難状況）」及び教務課担当から提出された学部学生安否確認票集計を合算し、12:45までに集計できた分を中間報告として「地区避難場所連絡票（避難状況）」を作成し、12:45に非常災害対策本部へ報告する。（中間報告）
- （\* 避難訓練終了後、12:45までに集計しきれなかった分を中間報告に加えて最終報告として避難者数を報告する。）
- （東・南地区総括自衛防災地区隊（本館自衛防災地区隊））

- 12:45 「地区避難場所連絡票（避難状況）」中間報告 後  
 総括自衛防災地区隊副隊長から下記のアナウンス（13:20 講評(学長・消防署長)及び13:35 個別訓練開始他）を行い、総合訓練終了を避難者に通知する（ハンドマイク等使用）。
- （各総括自衛防災地区隊）

- ①地区で取りまとめた避難者人数（中間報告）。
- ②総合訓練は、これで終了すること。
- ③消防署との連帯火災訓練が西9号館で行われること、及び消防署からの講評・学長の返礼が13:20に本館前で行われること。
- ④個別訓練が13:35から実施されるので、時間のある方は参加、見学いただきたい。

## 2. 避難誘導訓練

- 12:15の地震発生後
- ・ 各研究室等の火元責任者は、担当居室を確認し避難する。（火元責任者）
  - ・ 自衛防災地区隊避難・救護班はハンドマイク等により、各建物から職員・学生等の避難誘導を行う。
  - ・ 非常持出袋と重要書類等を持ち出す。
  - ・ 各建物の自衛防災地区隊消火・工作班は消火器を一本持ち出す。
- ※終了後必ず元に戻すこと。
- ・ 職員・所属学生は建物毎に定められた避難場所に集合する。
  - ・ 理学系教職員・所属学生は「理学系緊急連絡カード（安否確認票（避難訓練用））（避難訓練用）」を所属自衛防災地区隊の安否確認票ポストに投函する。
- ↓
- 各自衛防災地区隊情報・連絡班でとりまとめ、一斉避難訓練終了後に理学系事務グループへ提出。
- ・ 学部学生は各避難地区で教務課の担当に安否確認表を提出する。

## 3. 負傷者救護訓練（東1号館）（理学系）

- 12:15 地震発生により東1号館で負傷者が発生

東1号館自衛防災地区隊副隊長に報告，東1号館自衛防災地区隊は応急措置を行い負傷者1名を救急衛生対策班（本部）のテントへ東1号館避難救護班員が搬送。



東・南地区総括自衛防災地区隊本部（本館前スロープ）へ，東1号館情報・連絡班員が口頭により連絡

「東1号館の2階で負傷者が1名発生しました。非常災害対策本部まで東1号館避難救護班員が付き添って，搬送します。」



東・南地区総括自衛防災地区隊本部から非常対策本部救急衛生対策班へ連絡，救急衛生対策班（本部）は到着した負傷者の手当を行う。

※救急衛生対策班（本部）のテント（場所）を確認のこと。

#### 4. 火災総合訓練（西9号館）

- 12:50 地震発生により火災発生  
自衛防災地区隊で消火活動（初期消火）実施  
田園調布消防署消防隊による消火・救出活動実施

#### 5. 消防署の講評及び個別訓練

- 13:20～ 消防署 講評（大岡山本館は田園調布消防署管内）  
・学長 返礼
- 13:35～ 時間のある方は個別訓練への参加，見学してください

[ 個別訓練 ] 13:35～14:15

<ウッドデッキ周辺にて実施>

消火器取扱訓練

屋内消火栓取扱訓練（理学系参加予定者：佐瀬助教，藤井特任助教，上田地惑修士院生）

応急手当講習会

煙体験ハウス体験

地震体験車

非常食体験訓練

#### 6. [雨天時の対応]

上記の情報伝達訓練，避難誘導訓練を実施

（本館入口に東・南地区総括自衛防災地区隊本部・学部学生安否確認提出場所を設置）

（負傷者救護訓練，火災総合訓練，個別訓練は中止）